

# 新年のご挨拶

日高農業改良普及センター所長 岩 谷 繁



明けましておめでとうございませす。平成二二年の新春をご家族お揃いでお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、長雨や日照不足など不順な天候により各作物に大きな影響が出ました。

品目別には、水稲の全道作況指数八九に対し、管内作況指数九五と地域差はあるものの影響を低く抑えることが出来ました。

牧草では一番草の収穫時期の見極めに苦労し、乾牧草の品質に影響が生じましたが、牧草収量としては平年並みとなりました。

更に、特産のミニトマトは、燃油等コスト削減の努力と共に生産量は計画に沿った数値となりましたし、ホウレン草も高い品質に支

えられた結果、生産量は計画を下回ったものの堅調に推移しました。

また、軽種馬では、日高産GI馬の活躍も随所に見られましたし、静内産黒毛和牛は、素牛の品質が市場で正當に評価され、安値基調の中でも安定した価格を維持する結果となっております。これらはいずれも組合員各位の多年の研鑽とご努力の結果であり、敬意と感謝を申し上げます。

今、農業は国内的には自給率の向上、国際的にはWTOの農業交渉や多角的貿易体制を補完するEPA・FTA交渉など、貿易の自由化に向けた動きが活発化しています。更には、農業政策も大きく変わり、旧来型の農業政策から戸別所得補償制度へと大きく舵を切りました。二二年度からは全国規模で米戸別所得補償モデル事業がスタートしますが、地域農業への影響についても見極めを一層深めていくことが必要であります。

さて、管内の農業産出額の六割は軽種馬生産であり、馬王国日高を象徴する地帯でもあります。現

在、軽種馬生産を取り巻く環境が大きく変化の中で、軽種馬経営の体質改善と共に経営の複合化・経営転換の取り組みについても進められております。今回、国費事業として馬産地再活性化緊急対策事業が管内を中心に展開されますが、これらを活用しつつ、今ある多くの課題を共有して、着実に解決策を推進していくことが重要であると思っております。

軽種馬生産は、男性主導の社会とも言われておりますが、女性の立場から軽種馬生産に関わる意識改革に意欲的に取り組み、女性自らが行動し、技術力を高め、軽種馬産業・文化を次世代に繋げていこうとする管内軽種馬女性農業者の活動があります。軽種馬生産経営の更なる振興のためにも、経営のパートナーとしての役割を果たしていくことは大変重要であり、これらの活動に対する皆様のご理解と力強いご支援に期待致します。

現在、農業人口の減少と地域や地域農業を支える担い手不足は深刻化しております。地域力を維持し、魅力のある農業として展開させる力は、人でありマンパワーです。互いに価値観を共有し、地域のビジョンを描きながら行政やJA等の農業団体の

皆様と共に考え、多くの情報を発信し続けることが、地域力を高めていくことに繋がると言われております。

厳しい時だからこそ地域のオリジナリティーとオンリーワンを目指し、地域での様々な動きを追求することも大切なことです。恵まれた条件を最大限に活かした各種の農業展開を考えたとき、高付加価値型農業の展開も可能性として高いものがあると思われます。農業生産等の場面では、農・商・工との連携も各地で行われておりますが、それぞれの立場で地域を考え、人を育て、食や環境への思いを大切に、情報を発信し続けることが必要であると確信しております。

普及センターとしても、これらを踏まえ地域農業の振興に向け、関わりをもって対応して参りたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

今年も稔り豊かで輝かしい地域農業を目指し、まい進されますと共に、皆様のご多幸と益々のご発展を祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。